

令和8年度 杏林大学 医学部 一般選抜 1次試験

「数学」入学試験問題 出題意図

本学医学部の入学者受け入れの方針（アドミッションポリシー）にのっとり、課題の「解決に向けて物事を多面的かつ論理的に考察」し、「柔軟な思考力と知的探究心をも」った人材を選抜すべく、論理的思考と適切な数式処理能力を問えるよう作題した。

[I] 2次曲線の媒介変数表示と幾何学的性質、三角関数の代数演算について理解度をはかる問題。

2次曲線の代数的側面と幾何学的側面を統合的に問い、数学的思考力がどの程度深く身についているか確認する意図で作題されている。

[II] 3進数の演算と性質、数列の基本的演算について理解度をはかる問題。

3進表記に基づく関数の振る舞いを多面的に扱うことで、整数の表現方法がもつ構造を把握し、その背後にある数論的な規則性を見抜く力がどの程度涵養されているか確認する意図で作題されている。

[III] 極方程式で表される曲線の幾何学的性質、極限と接線の方程式、および動点の速度・加速度について理解度をはかる問題。

対数らせんの等角性や自己相似性、漸近的挙動を把握するための解析学的手法について、学習深度と計算力をはかる意図で作題されている。